



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2020年4月28日

上場会社名 サイオス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3744 URL <https://www.sios.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 喜多 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 小林 徳太郎 (TEL) 03-6401-5111  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績 (2020年1月1日~2020年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	3,979	12.8	141	54.2	136	27.5	73	112.4
2019年12月期第1四半期	3,529	4.9	91	△58.8	106	△52.5	34	△75.0

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 66百万円 (99.9%) 2019年12月期第1四半期 33百万円 (△66.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2020年12月期第1四半期	円 銭 8.49	円 銭 —
2019年12月期第1四半期	4.00	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	5,535	1,333	23.3
2019年12月期	5,332	1,308	23.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 1,288百万円 2019年12月期 1,264百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想 (2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	4.5	80	45.6	100	3.9	40	23.6	4.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期1Q	8,874,400株	2019年12月期	8,874,400株
② 期末自己株式数	2020年12月期1Q	205,768株	2019年12月期	205,768株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期1Q	8,668,632株	2019年12月期1Q	8,653,204株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 本資料に記載されるサービス・商品名等は、当社又は各社等の登録商標又は商標です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

<当第1四半期連結累計期間の概況>

当社グループが属するIT業界において、クラウド環境への移行、業務プロセスの効率化や自動化への取り組み等、デジタルトランスフォーメーション(\*1)への投資が加速しております。このような事業環境の中、当社グループはお客様の課題解決をサポートできるよう、高付加価値の製品・サービスを提供しています。

このような取り組みの結果、各セグメントの業績は、次の通りとなりました。

## ① オープンシステム基盤事業

主力自社製品の「LifeKeeper」(\*2)は、欧州および米州の地域で減収となったものの、日本でのライセンス販売が好調に推移したため、堅調な増収となりました。また、Red Hat Enterprise Linux(\*3)をはじめとするRed Hat, Inc. 関連商品(\*4)、OSS(\*5)サポートサービス、OSS関連商品は好調な増収となりました。これらにより、売上高は2,343百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

利益面では、「LifeKeeper」の機能強化にかかる研究開発費が増加したため、セグメント利益は55百万円（同11.4%減）となりました。

## ② アプリケーション事業

MFP向けソフトウェア(\*6)製品は、サブスクリプション(\*7)販売への移行が進んだことにより、減収となりました。一方、金融機関向け経営支援システム販売は、前下期に受注した案件が売上計上されたことにより、好調な増収となりました。システム開発・構築支援も、教育機関など文教向けを中心に好調な増収となりました。これらにより、売上高は1,636百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

利益面では、システム開発・構築支援および金融機関向け経営支援システム販売が増益となりました。これに加え、金融機関向けシステム開発・構築支援において、外注費等の抑制により粗利率が改善したこと、前期に発生していた不採算案件の影響がなくなったことにより、増益となりました。これらにより、セグメント利益は86百万円（同194.9%増）となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,979百万円（前年同期比12.8%増）となり、過去最高の四半期売上高となりました。

利益面では、前述の通り、アプリケーション事業の増益が寄与し、営業利益は141百万円（同54.2%増）、経常利益は136百万円（同27.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は73百万円（同112.4%増）となりました。

また、当社グループの重視する経営指標であるEBITDA（営業利益+減価償却費+のれん償却額）とROIC（年率換算数値、税引後営業利益÷（株主資本+有利子負債））は、次の通りとなりました。

EBITDA：164百万円（前年同期比44.8%増）

ROIC（年率換算数値）：17.7%（前年同期は10.9%）

## (\*1) デジタルトランスフォーメーション

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

## (\*2) LifeKeeper

本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。

## (\*3) Red Hat Enterprise Linux

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するLinux OS。

## (\*4) Red Hat, Inc. 関連商品

オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。

(\*5) OSS

オープンソースソフトウェアの略。ソフトウェアの設計図にあたるソースコードを無償で公開し、使用・改良・再配布ができるソフトウェア。

(\*6) MFP向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。

(\*7) サブスクリプション

ソフトウェア等の製品・サービスの提供に対して、定期的に定額課金または従量課金するモデル。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、受取手形及び売掛金の増加395百万円等の要因により、4,683百万円（前連結会計年度末比4.5%増）となりました。

固定資産は、ソフトウェア等無形固定資産の増加15百万円、有形固定資産の減少11百万円等の要因により、852百万円（同0.0%増）となりました。

この結果、総資産は、5,535百万円（同3.8%増）となりました。

② 負債

流動負債は、前受金の増加119百万円、買掛金の増加88百万円等の要因により、3,560百万円（前連結会計年度末比6.1%増）となりました。

固定負債は、長期借入金の減少30百万円等の要因により、641百万円（同3.9%減）となりました。

この結果、負債合計は、4,202百万円（同4.4%増）となりました。

③ 純資産

純資産合計は、当四半期において親会社株主に帰属する四半期純利益73百万円を計上したこと等の要因により、1,333百万円（前連結会計年度末比1.9%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の業績予想につきましては、2020年2月5日に公表した「2019年12月期 決算短信」に記載の通りであり、変更していません。

当社グループでは、2020年2月18日より順次、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の社内外への感染拡大防止と従業員の安全確保を目的として、テレワークを併用した時差出勤等の各施策に取り組んでおりましたが、4月7日の日本政府からの緊急事態宣言を受けて原則、全従業員の在宅勤務を実施しております。現時点での当社グループの事業活動においては、在宅勤務実施に係る影響は軽微です。しかし今後、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が長期化した場合、当社グループの業績にも影響を与える可能性があります。

なお、当第1四半期連結累計期間における売上高および各利益項目は順調に推移しておりますが、今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,266,069	2,131,096
受取手形及び売掛金	1,754,762	2,149,810
仕掛品	47,536	31,183
前渡金	181,936	176,653
その他	229,853	194,556
貸倒引当金	△200	△200
流動資産合計	4,479,958	4,683,101
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	112,312	106,585
その他（純額）	74,480	68,584
有形固定資産合計	186,792	175,170
無形固定資産		
のれん	786	571
ソフトウェア	39,720	108,162
ソフトウェア仮勘定	184,413	131,956
その他	1,916	1,882
無形固定資産合計	226,835	242,573
投資その他の資産		
投資有価証券	137,073	137,680
退職給付に係る資産	43,741	39,322
差入保証金	207,904	205,410
その他	55,233	57,503
貸倒引当金	△5,071	△5,071
投資その他の資産合計	438,881	434,845
固定資産合計	852,509	852,589
資産合計	5,332,468	5,535,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	856,680	945,305
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	132,303	128,971
リース債務	7,156	6,813
未払法人税等	19,619	44,787
前受金	1,842,348	1,961,510
賞与引当金	34,262	17,995
受注損失引当金	326	671
その他	413,077	404,488
流動負債合計	3,355,774	3,560,544
固定負債		
長期借入金	413,620	382,840
退職給付に係る負債	230,539	236,660
リース債務	11,362	9,874
長期預り金	11,632	11,632
その他	750	754
固定負債合計	667,905	641,761
負債合計	4,023,679	4,202,306
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,481,520	1,481,520
利益剰余金	82,963	113,212
自己株式	△87,198	△87,198
株主資本合計	1,477,284	1,507,534
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,961	△7,274
為替換算調整勘定	△208,398	△211,746
その他の包括利益累計額合計	△212,360	△219,021
新株予約権	43,863	44,872
純資産合計	1,308,788	1,333,384
負債純資産合計	5,332,468	5,535,691

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	3,529,053	3,979,744
売上原価	2,443,768	2,784,278
売上総利益	1,085,285	1,195,466
販売費及び一般管理費	993,297	1,053,612
営業利益	91,987	141,853
営業外収益		
受取利息	3,218	2,939
為替差益	3,524	5,611
デリバティブ評価益	4,099	—
持分法による投資利益	3,695	—
その他	1,438	1,089
営業外収益合計	15,975	9,640
営業外費用		
支払利息	1,001	837
デリバティブ評価損	—	646
持分法による投資損失	—	12,371
その他	0	1,269
営業外費用合計	1,001	15,125
経常利益	106,960	136,368
特別利益		
新株予約権戻入益	450	—
特別利益合計	450	—
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	—	268
特別損失合計	—	268
税金等調整前四半期純利益	107,410	136,100
法人税、住民税及び事業税	56,235	55,812
法人税等調整額	16,524	6,695
法人税等合計	72,760	62,508
四半期純利益	34,650	73,592
親会社株主に帰属する四半期純利益	34,650	73,592



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	34,650	73,592
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△5	△3,359
その他有価証券評価差額金	△1,012	△3,312
持分法適用会社に対する持分相当額	△146	11
その他の包括利益合計	△1,163	△6,661
四半期包括利益	33,486	66,931
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	33,486	66,931

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2019年3月28日開催の第22回定時株主総会の決議により、同日付で会社法第452条の規定に基づき、その他資本剰余金を480,279千円減少し、繰越利益剰余金に振り替え、欠損填補を行っております。

なお、株主資本の合計金額には、著しい変動はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 配当金支払額

2020年2月21日開催の取締役会において、次の通り決議しております。

普通株式の配当に関する事項

①配当金の総額	43,343千円
②配当の原資	利益剰余金
③1株当たり配当額	5円00銭
④基準日	2019年12月31日
⑤効力発生日	2020年3月30日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	アプリケー ション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,028,054	1,500,938	3,528,993	60	3,529,053
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	226	226	△226	—
計	2,028,054	1,501,165	3,529,220	△166	3,529,053
セグメント利益	62,666	29,261	91,927	60	91,987

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,297,351	152,015	63,913	15,772	3,529,053

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	オープンシステム 基盤事業	アプリケーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,343,196	1,636,487	3,979,684	60	3,979,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,290	1,290	△1,290	—
計	2,343,196	1,637,778	3,980,975	△1,230	3,979,744
セグメント利益	55,501	86,291	141,793	60	141,853

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (参考情報)

## 地域に関する情報

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

## 売上高

当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

日本	米州	欧州	その他の地域	計
3,814,897	116,817	31,608	16,421	3,979,744

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。